

## 【概要】

医薬品や生体分子の物性や反応性は、構造中のある特定の官能基の性質に基づくことが多い。本講義では、アルケン・アルキン・共役系化合物・芳香族化合物など、医薬品に広くみられる部分構造の物理的及び化学的性質について学び、医薬品の性質や作用機序を理解するための有機化学の基本的な知識を修得する。また、有機反応の主要な反応形式（置換、脱離、付加）について、体系的に理解することを目的とする。

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による